



妻北っ子だより

令和4年度 9月号 文責 校長

「二学期でがんばること」 4年1組 岩澤 陽菜乃

今日から2学期が始まります。わたしは2学期にがんばりたいことが二つあります。一つ目は、授業態度のことです。一学期は、となりの人と授業中に話をしたりしていました。先生に何回も注意されているけど、なかなかおきませんでした。だから、二学期は授業中話をしないようにしていきたいです。そのために、となりの人を見ないで、黒板をまっすぐ見るようにします。

二つ目は、体育です。わたしは体育がとっても苦手です。でも、一学期は「坂あり開脚後転」をあきらめずにがんばってできるようになりました。二学期は、運動会があります。わたしは、一学期のようにあきらめずに「と走」をがんばりたいです。いつも最後の方でつかれてきて、息が苦しくなり、どうしてもよくなって力をぬいてしまうので、その心に負けないようにしたいです。

そして、終わった後には、「自分の力を出しきった」と思えるような「と走」にしたいです。また、わたしもふくめて全員で運動会を盛り上げて、記憶にのこるようなすばらしい運動会にしたいです。

「二学期にがんばりたいこと」 4年2組 横山 陽菜音

みなさん、夏休みは楽しいことがいっぱいありましたか。わたしは、夏休みに色々な体験をしました。特に思い出に残っていることは、水族館でのイルカショーやえさやり体験と、アクアリウム制作教室です。今年の夏休みは、とても楽しい思い出ができました。

今日から始まった二学期にがんばりたいと思っていることが三つあります。

一つ目は、図工の絵です。一学期には「まぼろしの花」という自分で想像した花をかきました。そのときに、色を組合せたりクレヨンを使ってふちをなぞる時にはみ出したりしました。そのため、自分の思い描く花を十分にかくことができませんでした。二学期も絵をかくことがあると思います。一学期にかいた時よりも、上手にいていねいにかけるようにがんばります。

二つ目は、国語の漢字です。一学期は、九十字の漢字を習いました。国語の時に三文字ずつ新しい漢字を勉強しては、漢字自学ノートで練習をしていました。

しかし、中にはむずかしい漢字もあり、書き順をまちがえたりすることもありました。一学期最後の漢字テストでは、あと少して百点でしたが、一学期に覚えることができてなかった苦手な漢字を家でたくさん書きたいと思います。二学期は六十五文字の漢字を覚えることになります。ひと文字ひと文字、書き順や読みを覚えられるようにがんばりたいです。

最後は、習字です。一学期には「林」と「原」と「雲」を書きました。「原」という漢字を書いた時のことです。はらいの部分がどうしてもうまく書くことができません。えん筆で書く時と筆を使って書く時とは力の入れ具合もちがいます。まだまだなれない筆使いですが、毎時間の習字をがんばりたいと思います。

今話した三つのこと以外にも運動会や音楽大会など行事もあります。いろんなことに挑戦して楽しい二学期にしたいです。

お見舞い申し上げます

9月17日から19日にかけて、台風14号が九州を縦断するルートで通過しました。

気象庁が、「以前に匹敵するものがない」と発表するくらい強い勢力を維持し、各地で大きな被害が出ています。

家屋や農業施設の浸水、道路の崩落、公共交通機関の不通、停電・断水等、テレビや新聞で報道されるのを目にするたび、胸をふさがれる思いになります。

一刻も早い復旧を願うとともに、被害に遭われた皆さんへお見舞いを申し上げます次第です。



ひとつの指標として（全国学力・学習状況調査結果）

全国学力・学習状況の調査結果が7月28日公表されました。「子ども達に学習すべき内容がどれだけ身に付いているか?」「授業や家庭学習の在り方をどう改善していくか?」等について、調査結果をもとに学校全体で考え、対策を講じていくことが、本調査の趣旨です。

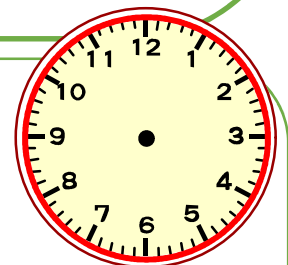


学校ごとの具体的な数値は、本調査の趣旨により提示できません。本年度は、国語・算数・理科の3教科で実施され（例年、国語・算数のみ）、本校は、国語・理科については全国平均以上、算数についてはほぼ全国平均なみの正答率であり3教科とも県平均を上回る良好な結果でした。

この成果は、「子どもたちの成長とがんばり」「家庭学習等におけるご家庭の協力」「地域の方々の理解」「先生方や支援員さんの指導支援」等、「チーム妻北小」の総合力による成果と考えています。

今後は、本調査結果や県・市が実施する調査についても、ひとつの指標ととらえ結果の分析を進め、コロナ禍等により定着が薄かった部分や、家庭学習の工夫、個別支援の在り方、主体的に考えたり意欲的に読書したりする態度等の課題について、より具体的な対策を立て取り組んでいきます。

本年度、宮崎大学と連携し、子ども達の日常の行動の中で課題となっている部分を絞り込み、学校の教育活動全体を通してポジティブに指導支援を行い、できているかどうかを子ども達と共有しながらよりよい変容を目指す研究を進めています。



横文字で「School-Wide Positive Behavior Support」（略して、スクルーワイドPBS）といい、本校でも初めての取組です。1学期から夏休みにかけて、先生方の研修や課題の絞り込みを行い、9月中旬から具体的な取組を行っています。

その第一歩が「1分前着席」ができる子を目指した取組です。時間を意識して行動することについて、ご家庭でも話題にしていただけると幸いです。